

院慶雲宗瑞童子。

リンシヨウジ 林照寺 鹿島郡春木に在つて、眞宗西派に屬する。

リンシヨウジ 琳照寺 鳳至郡銀地に在つて、眞宗東派に屬する。

リンセンジリヨウ 臨川寺領 京の臨川寺領が石川郡大野庄に在つたことは、元弘・建武以降の臨川寺文書によつて知られる。この寺は足利尊氏・直義兄弟の尊信した礪石の住した所であるから、幕府がその莊園を保護すること甚だ厚く、建武三年には尊氏から加賀の守護畠山家に命じて、その兵士の臨川寺領大野庄を侵害すること勿らしめ、興國元・二年(曆應三四)には、幕府から斯波氏頼に命令して、大野庄の年貢を若狭の小濱に回漕するに際し之を警固せしめ、次いで正平二年(貞和三)またその年貢が琵琶湖上に運漕せられる時、兵士米と稱して劫掠するものがあつたから、幕府は佐々木秀綱に之を禁止せしめたことがある。又隆涼軒日録永享十年六月六日の條に、『當院御成御齋。臨川寺領加州宮腰公事云々各伺之。』同寛正三年七月十九日の條に、『臨川寺領賀州宮腰内平木、尤對寺家爲不義者可遂放之由云々。』と見えるが、この宮腰も亦大野庄内なのである。

リントウ 麟等 ↓カクシツリントウ 覺室麟等。

リンバ 林坡 ↓アサノヤリンバ 淺野屋林坡。

リンユウジ 林幽寺 金澤六斗林に在つて、眞宗東派に屬する。初めこれを石川郡窪村に創立し、享保十七年今の地に移轉したといふ。

# ル

ルイジュウコクシホ 類聚國史補 四十三册。安政四年三月廿一日前田齊泰の命に因り、狩谷啓友・田中猛之・高橋富季(富兄)・三輪照寛・有岡久米人・宮井敬太郎・神保磯次郎・青木新三郎・高木守衛・安木田頼方が、類聚國史の缺漏を補ふ爲に撰んだもので、稿本は尾山神社に藏せられる。

ルイダイシカハカシユウ 類題石川歌集二册。明治十年高橋富兄著。當時の石川縣管轄區域であつた加賀・能登・越中及び越前七郡の詠歌を類題蒐集したもので、歌數千十五首、人員四百八十五名。その作者姓名を巻尾に附録してある。

ルイダイウメガカシユウ 類題梅香集 一册。近藤篤之著。金澤及び加越能三州の近世の歌を類題集録したもので、巻尾に作者姓名が附録せられてゐる。明治十一年高橋富兄の序文がある。

ルイハン 累犯 寶永以前に在つては、禁牢三回に及べば、罪の輕重に拘らず死刑に處した。正徳三年窃盜犯によつて御領國追放に處せられた者が、歸國して窃盜したから、三三所御領追放にした所、更に封内に入つて窃盜した。依つて公事場奉行は斬せんことを稟請したが、恰も徳川家宣の一周忌に會したから、三たび追放した。是に於いて禁牢三回にして助命せられる例を開いた。しかも寛延元年越中戸出の乞丐與三右衛門は、窃盜三回にして斬せられた。次いで天明六年四月前田治脩は

令して、公事場に於いて禁牢三回なる時は斬すること舊の如くなるべきも、盜賊敗方にて禁牢三回に及ぶも尙出獄せしめ、その後更に窃盜を行ふ時は、罪の輕重によらず、公事場に護送して死刑に當てることにした。

ルイヨウシユウ 累葉集 初編一册。金澤の俳人大夢の主催に係る發句集で、嘉永五年壬子秋梅室八十四歳の序文があり、高井二百の竹の繪を添へる。その序文に因ると、自今毎年續刊するとの意味が記されてゐるが、次編は安政二年に出で、梅室の序と安政乙卯菊月七十七翁藝園の序とがある。板元は並びに不明。その梅室の序に年號のないのは、既に歿後だからである。

ルス 留守 藩侯の在府または在城せぬ期間を御留守と稱した。

ルスキアシガル 留守居足輕 享保九年初めて御留守番三人を命ぜられ、これに足輕を附屬せしめた。割場格帳に、『御城内四十七所の内十一ヶ所、享保九年御留守居支配に被仰付、右足輕勤番。』とあるものである。次いで同十一年に『定番足輕不殘右物頭支配に被仰付。』といふものは、先に吉田傳左衛門支配足輕といふのがあり、傳左衛門は正徳二年に歿したが、その跡組を留守居物頭に屬せしめたとの意で、元祿三年に初つた定番足輕のことではない。

ルスキバン 留守居番 金澤御留守居番は元祿十年四月初めて丹羽七郎左衛門正廣・津田酒造藩長二人に命ぜられた。寶永六年丹羽歿し、七年七月關屋市右衛門政知が命ぜられ、正徳元年五月津田彌右衛門正良又命ぜられて三人となつた。三年津田藩長歿し、享保八年

津田正良も歿し、九年八月關屋は致仕し、即日高田彌右衛門時種・度田貞右衛門正直・宮川友右衛門忠友が命ぜられて、爾後三人と定められ連綿する。金澤御留守居番の役料は百五十石で、一組與力二人・足輕廿七人(三の二簡、三の一弓)・小頭三人。外に手替足輕三人・小者三人は常に頭へ下された。↓エドルスキバシ 江戸留守居番。

ルテンジ 流傳寺 鹿島郡中野に在つて、眞宗東派に屬する。

レイウンイン 靈雲院 七日市藩主第二代前田利意の法號。詳しくは靈雲院桃岳宗吾大居士。

レイガイカクリン 靈外覺林 金澤曹洞宗天徳院十九代の住持。天保二年十一月十三日寂。

レイカイヨレキ 靈海餘瀝 一册。奥村尚寛著。我が邦人が宋儒の性理説に誤られ、古聖賢の示した格物致知誠心正意の眞意を忘れに至らんことを憂へ、天地人の極致が易に存することを結論したものである。

レイカン 靈觀 江沼郡菰屋眞宗東派西榮寺八代の住職。明和三年越前敦賀唯願寺に生まれ。幼名政。諱は信眞。廿五歳西榮寺に入つて嗣となり、後高倉學寮に入り寮司となつた。文政十三年十一月二十日寂、六十五歳。應聲院と謚する。

レイカンイン 靈鑑院 加賀藩主第十四代